



茨城県立
高萩清松高等学校



平成24年度 高等学校教育研究会情報部全国大会

分科会研究発表

茨城県立高萩清松高等学校
教諭 大和田 礼智

総合学科＝自分らしく学ぶスタイル





自己紹介

大和田 礼智(おおわだ あやのり)

茨城県笠間市出身

部活動:野球に明け暮れる

免許:高校情報 高校公民

注:パソコンに関しては正直得意ではない。



発表の流れ

- 学校概要
- 生徒の状況
- 授業と評価について
- 進路を見据えた授業展開
- 今後の課題



学校概要

茨城県立高萩清松高等学校

- 総合学科（定員200名）
- 人文系列
- 自然系列
- 機械テクノロジー系列
- 情報ビジネス系列
- 福祉・生活科学系列

総合学科＝自分らしく学ぶスタイル



本校の情報科では

- 1年次 必修科目：情報A 2単位 × 6クラス
- 2年次
自由選択科目：情報と表現 2単位 (18名)
- 3年次
自由選択科目：Webページデザイン 2単位 (35名)

ちなみに新カリでは「社会と情報」の予定

総合学科 = 自分らしく学ぶスタイル



本校の教科情報の教育目標

◎「情報を“読み解く”力」の育成

→情報を「疑う」「比べる」「選ぶ」力

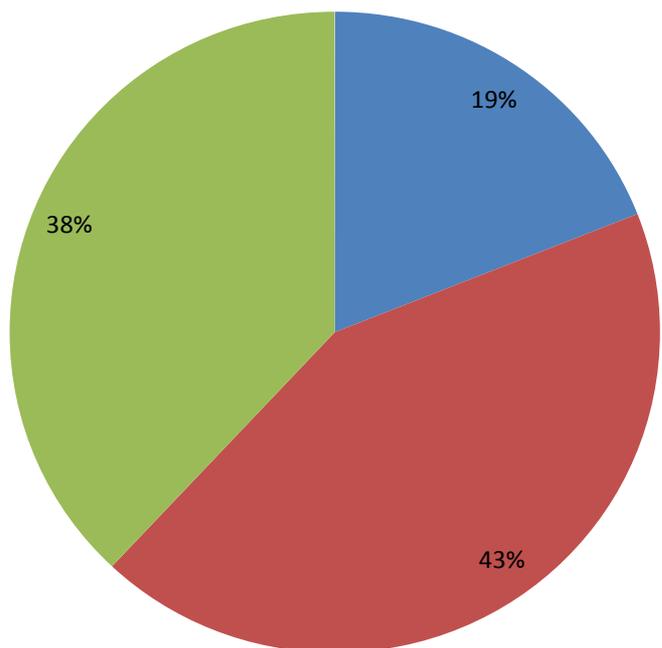
◎「情報を“伝える”力」の育成

→プレゼンテーション能力(=コミュニケーション力)

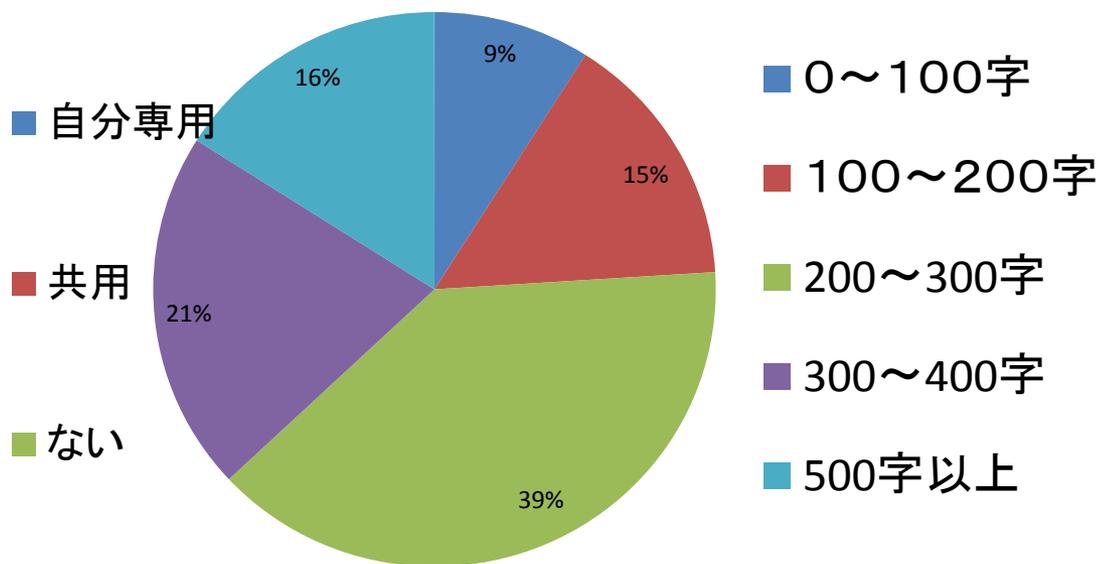


生徒状況

パソコン所有状況



10分間のタイピング文字数
1年次4月時点

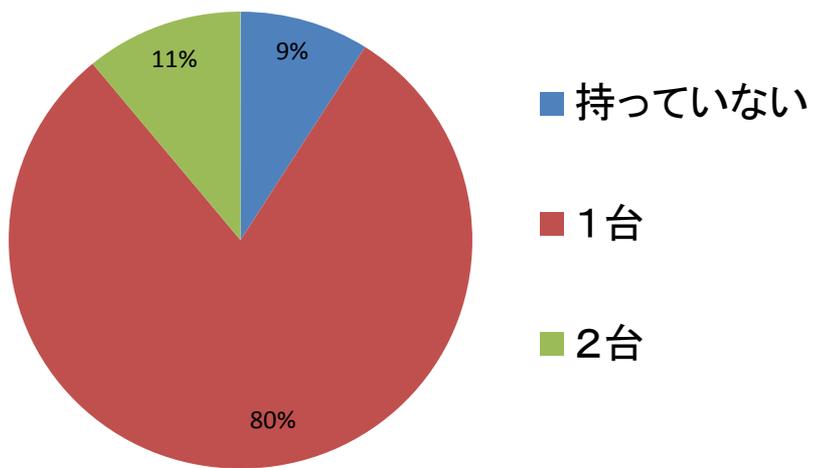


総合学科＝自分らしく学ぶスタイル

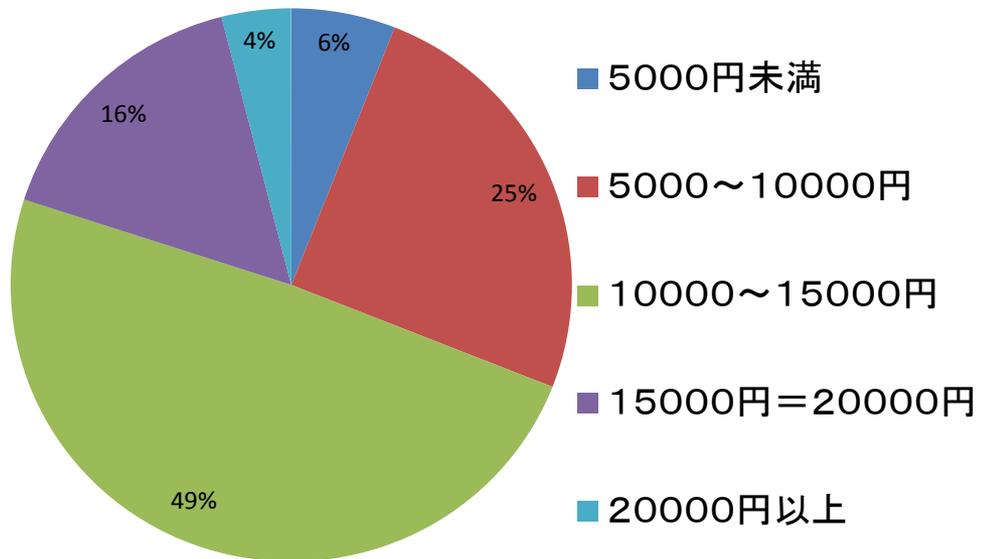


自分発見

携帯電話の所有状況



携帯の月額料金





茨城県立
高萩清松高等学校



自分発見

本校生徒の状況

別添ファイル有り

総合学科＝自分らしく学ぶスタイル





大和田が考える本校生のタイプ

- ①何をすればいいか分からない、知らない。(大前提)
- ②やることが分かれば、やる。
- ③飽きっぽい。
- ④最初が崩れると、ずっとダメ。
- ⑤“できる”ことに慣れていない。
- ⑥自信がない。



教員がこの生徒たちと授業するのに大切なことは
「能動的」に授業に参加させること・・・！

受動ではダメ！！！！！！！！



こんな生徒でも力をつけてほしい！

- ①最初にタイピングで授業モードに。
- ②「何をするのか」の明確化（評価基準の指示）
- ③実習では他生徒に教えてOK！（生徒間の関係構築、「教える」力の育成）
- ④“分かる”を実感・共感（協働・協学で）
- ⑤年間通しての“発表”で生徒に披露（プレゼンテーション能力育成、人前に立つ度胸作り）→『**自信**』に。

※自己紹介・職場体験・1年間のまとめ



茨城県立
高萩清松高等学校



自分発見

授業と評価について

総合学科＝自分らしく学ぶスタイル





授業（情報A）の流れ

- タイピング練習（10分間）
- 年2回 全商ワープロ検定（希望者）
- 実習

※座学はテスト前1か月間
（各6時間くらい・年2回）



タイピングの目的

- 服装を正す
- 10分間集中力保持
- イスにきちんと座る
- 両手打ちを続ける
- 頭の体操・コミュニケーション・出欠確認

※タイピング終われば、さあ実習！！

まずは、何をするのか(評価基準の明確化)



評価

- 3大評価＜教員評価・自己評価・相互評価＞
- 相互評価は“発表”の際に使用。
(教員4:自己3:相互3)
- 評価のポイントを明示(作品作成前に)
⇒「生徒が何をやればいいのか」が明確に。



茨城県立
高萩清松高等学校



自分発見

自己評価するために

例：作品「お知らせ」の評価基準は？

総合学科＝自分らしく学ぶスタイル





当たり前ですが・・・

評価基準＝生徒が身に着けるべきスキル

⇒「職場体験」ファイル提示



今の作品を「相互」評価すると？

- ①見やすかった？
- ②聞きやすかった？
- ③その職業の内容が分かった？
- ④その職業のいい点・悪い点(大変な点)は？
- ⑤工夫点はあった？

YES=1点 NO=0点

5=S 4=A 3=B 2=C 1=D



茨城県立
高萩清松高等学校



自分発見

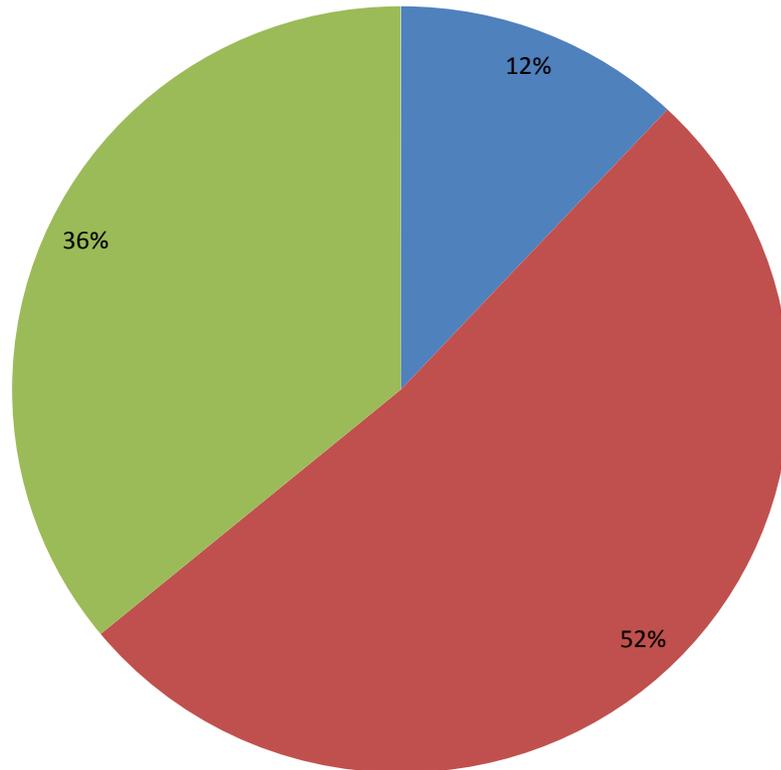
進路を見据えた授業展開

総合学科＝自分らしく学ぶスタイル





入学当初の進路希望



- 決まっている
- 決まっていない
- 迷っている



本校の総合学科は・・・

1年次・・・普通科と同じ授業形態

2年次～3年次・・・各系列に分かれ学習

- ①人文科学系列(文系)
- ②自然科学系列(理系)
- ③機械テクノロジー系列(工業)
- ④情報ビジネス系列(商業)
- ⑤福祉・生活科学系列

→系列選択が進路と直結！



系列選択をするために

1年次で「**産業社会と人間**」(2単位)を履修。

この授業で、職場体験、社会人講話、系列学習を行って進路を見据える。

→ここに**情報科も参加して**、系列決定、進路実現の一助に。

→→職場体験の報告会

(他業種の報告を聞くことで、生徒に進路選択の幅をもたせる)

☆系列決定が11月なので、

10月に行う報告会はタイミング良し。



「職場体験」をプレゼンすることで

◇進路の道筋が見ついた！

(2年次への系列選択＝進路の選択の役に立った。)

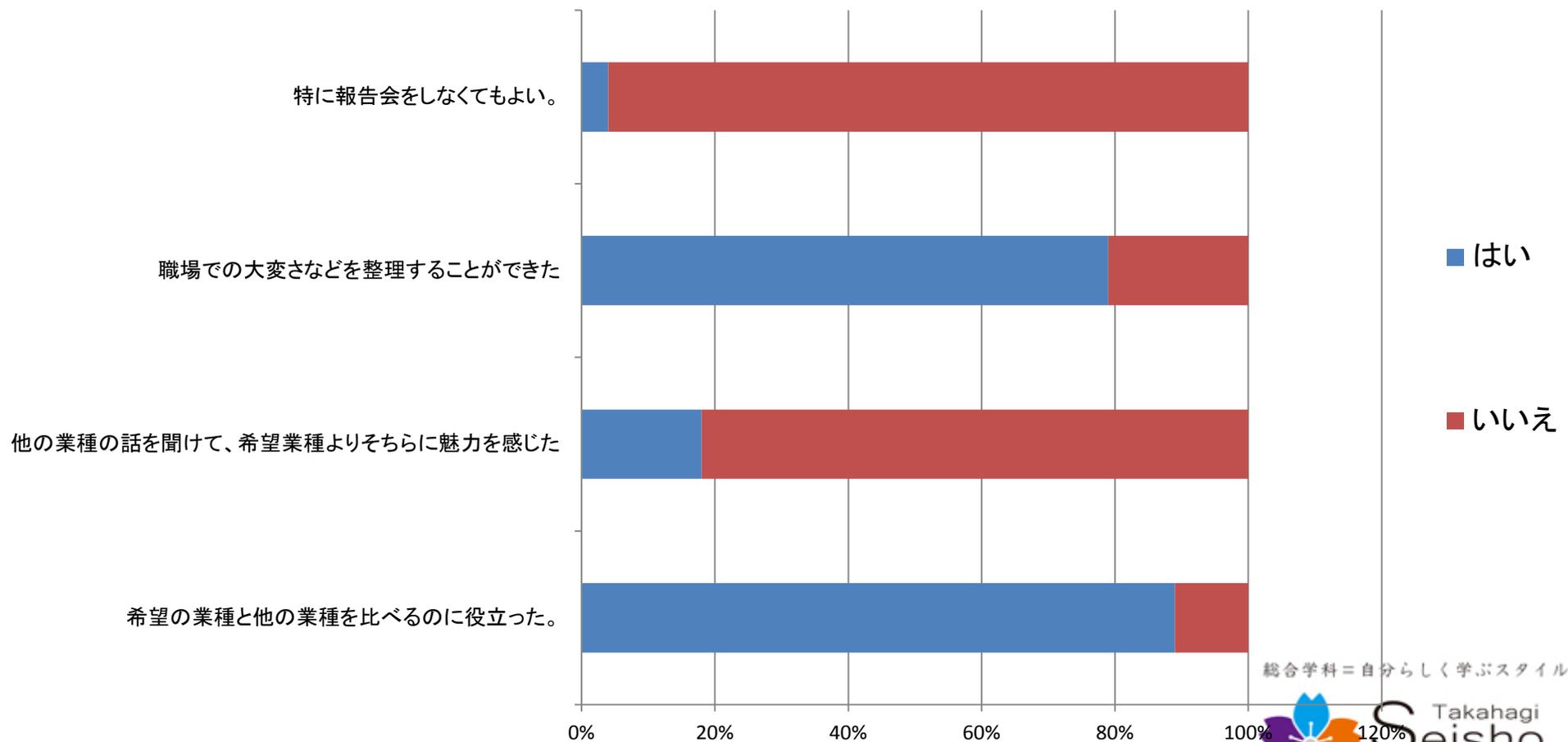
◇コミュニケーション力がついた！

(さらに他に2回プレゼンを行うことで「発表慣れ」をする。)

コミュニケーション力＝自分の考えを明確に伝える力。



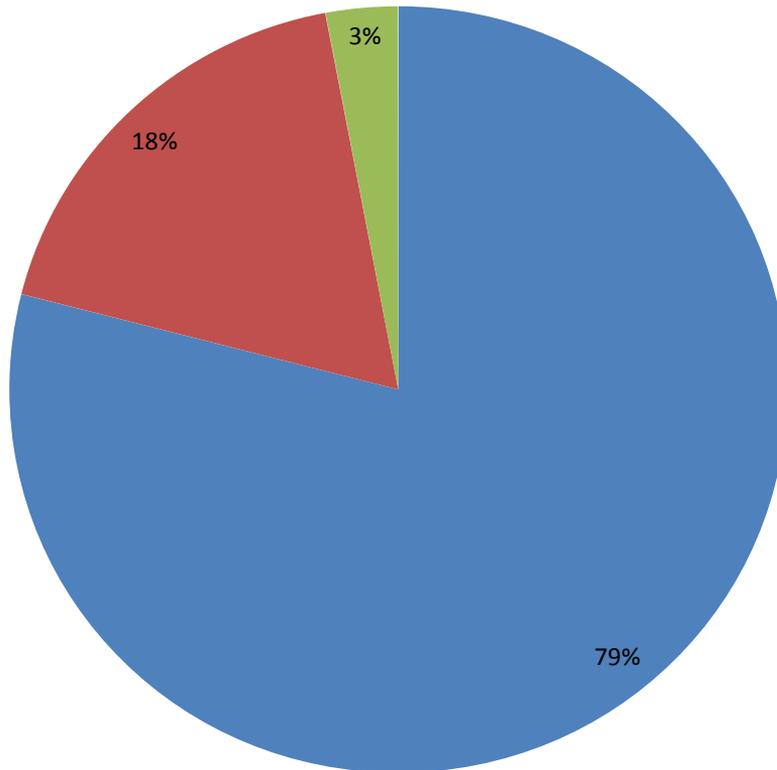
報告会を行って



総合学科 = 自分らしく学ぶスタイル



職場体験が進路実現に役立った？



■ はい

■ いいえ

■ 分からない



「情報」と「産業社会と人間」の取り組み

- ・職場体験のプレゼン
- ・産社のスライド<1年間のまとめ>のプレゼン
⇒1年間を通して産社で行ってきたこと、感じたことを発表
⇒⇒**キャリアデザイン**としての要素を。



“2年次以降「～になるから」頑張るぞ”という発表



茨城県立
高萩清松高等学校



自分発見

総合学科＝自分らしく学ぶスタイル



Takahagi
Seisho

自ら学び 自ら創り 自ら拓く



今後の課題

- ・生徒の進路実現へのモチベーションの創造
- ◎教員全体が育てようとする各々の生徒像を
共通理解
 - 本校生徒、地域状況を把握したうえでの指導
- ◎情報科だけでなく、学校全体との連携
- 他教科と情報⇔情報から各年次へ
 - 情報科の学年全体を指導できる特性を生かして・・・



茨城県立
高萩清松高等学校

自分発見



ご静聴ありがとうございました。

総合学科＝自分らしく学ぶスタイル

